

○ 二松学舎大学学則
(昭和36年4月1日制定)

第1章 総則

(目的及び使命)

第1条 本大学は、東洋の精神による人格の陶冶を旨とし、学校教育法に基づき、広く一般の基礎教養に関する学術と、更に深く専門の学芸を教授研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開させるとともに、世界文化の進展に寄与し、国家社会に貢献する国際性豊かな有為の人物を養成することを使命とする。
(教育研究上の目的)

第1条の2 文学部は、国文学科、中国文学科、都市文化デザイン学科、歴史文化学科の4学科を設け、国文学・中国文学・語学・文化学・歴史学等の学問及び表現力や情報発信力等の素養を身につけ、さらに日本文化、東洋文化を理解し、異文化に対する深い理解を備えた真の国際人を育成し、教育界をはじめ産業界など、社会のあらゆる分野で活躍する優れた人材を養成することを目的とする。

2 国際政治経済学部は、国際政治経済学科及び国際経営学科の2学科を設け、政治・経済・法律・文化などの国際政治経済事象を融合した教育研究や、企業経営を巡る諸領域についての教育研究を行う学部とし、東アジア諸地域に関する政治経済の実態やグローバル社会における企業経営の諸課題等を把握させ、外国語運用能力を涵養し、国際的、学際的視野に立って国際政治経済及び国際経営を学問的に考究でき、かつ国際政治経済に関する豊富な実践的知識を修得した国際社会に貢献する有為な人材を養成することを目的とする。

(自己点検・評価等)

第1条の3 本大学は、教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、本大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備(次項において「教育研究等」という。)の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本大学は、前項の措置に加え、本大学の教育研究等の総合的な状況について、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第1条の4 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第2章 組織

(学部・学科)

第2条 本大学に設置する学部学科及び定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	編入学定員 (3年次編入学)	収容定員
文学部	国文学科	240人		960人
	中国文学科	90人		360人
	都市文化デザイン学科	50人	30人	260人
	歴史文化学科	60人		240人
	計	440人	30人	1,820人
国際政治経済学部	国際政治経済学科	160人		640人
	国際経営学科	80人		320人
	計	240人		960人
合計		680人	30人	2,780人

2 前項に規定する都市文化デザイン学科の3年次編入学定員は、特定地域内学部収容定員の増加に係る外国人留学生に限定した特別枠とする。

(大学院)

第3条 本大学に、大学院を置く。

大学院の学則は、別に定める。

第3章 職員

(職員)

第4条 本大学に、次の職員を置く。

学長・教授・准教授・講師・助教・助手・事務職員
(学長)

第5条 学長は、本大学を代表して校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(職員組織)

第6条 本大学に副学長・研究科長・学部長・図書館長・研究所長及び学科主任を置く。

2 事務組織については、別に定める。

(副学長の職務)

第6条の2 副学長の職務は、次の各号のとおりとする。

(1)学長を助け、命を受けて校務をつかさどる

(2)学長に事故あるときは、学長の職務を代理する。

(研究科長の職務)

第6条の3 研究科長の職務は、学長の命を受け、研究科の責任者として、当該研究科の教育研究に関する事項を統括する。

(学部長の職務)

第6条の4 学部長の職務は、学長の命を受け、学部の責任者として、当該学部の教育に関する事項を統括する。

(図書館長の職務)

第6条の5 図書館長の職務は、学長の命を受け、図書館の責任者として、館務を統括する。

(研究所長の職務)

第6条の6 研究所長の職務は、学長の命を受け、研究所の責任者として、研究所を統括する。

(センター長の職務)

第6条の7 センター長の職務は、学長の命を受け、センターの責任者として、センター業務を統括する。

(図書館副館長の職務)

第6条の8 附属図書館に副館長を置いたときの副館長の職務は、館長を補佐し、館長に事故あるときは、館長の職務を代理する。

(名誉学長・名誉教授)

第7条 本大学に、名誉学長・名誉教授を置くことができる。その規定は、別に定める。

第4章 教授会並びに大学運営会議及び大学審議会
(教授会)

第8条 本大学学部、教授会を置く。

2 教授会の構成については、別に定める。

(教授会の審議事項)

第9条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、当該事項について審議し、その審議結果を当該教授会の意見として、学長に述べるものとする。

一 学生の入学、卒業

二 学位の授与

三 前二号に掲げるもののほか、教育に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長(以下この項において「学長等」という。)がつかさどる教育に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるができる。

(大学運営会議)

第9条の2 本大学に、大学運営の円滑化を図るため、学長が行う全学的な意思決定に先立ち、全学に関する重要事項を審議する大学運営会議を置く。

2 大学運営会議の組織及び審議事項等は、別に定める。

(大学審議会)

第9条の3 本大学に学長が行う全学的な意思決定

に資するため、全学の教育に関する事項を審議する大学審議会を置く。

2 大学審議会の組織及び審議事項等は、別に定める。

第5章 年度・学期及び休業日

(学年、学期)

第10条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。学年を分けて春学期・秋学期とする。春学期は4月1日から9月30日までとし、秋学期は10月1日から翌年3月31日までとする。必要に応じて、セッションを設ける。

2 学長は、前項の規定にかかわらず、教授会の意見を聴いて、前項の春学期の終了日及び秋学期の開始日を変更することができる。

3 前項に規定する変更を行った場合の各学期のそれぞれの期間は、当該年度の学年暦において定める。

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

一 日曜日

二 国民の祝日に関する法律に規定する休日

三 創立記念日10月10日

四 春期休業日3月21日から3月31日まで

五 夏期休業日8月1日から9月23日まで

六 冬期休業日12月25日から1月7日まで

ただし、必要ある場合は、休業日を変更し授業を課することがある。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第12条 学部の修業年限は4年とする。

(在学年限)

第13条 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第20条の規定により入学した学生は、第24条の規定により学長が定めた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第7章 入学

(入学の時期)

第14条 入学は、毎年度の始めとする。ただし、本学が認めた者に対しては、これを秋学期の始めとすることがある。

(入学資格)

第15条 学部に入学者は、次の各号の一に該当する者とする。

一 高等学校を卒業した者

二 中等教育学校を卒業した者

三 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

四 通常の課程以外の課程により前号に相当する学

校教育を修了した者

五 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

六 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

七 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

八 文部科学大臣の指定した者

九 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

十 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

十一 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

（入学の出願）

第16条 入学志願者は入学願書に所定の入学検定料、出身学校長の提出する調査書（証明書）及び写真等を添えて提出するものとする。

（入学の選考）

第17条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

（入学手続及び入学許可）

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、一定期限内に保証人連署の誓約書、その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金及び授業料等を納付し、入学手続を完了しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

（保証人）

第19条 保証人は、父母又は父母に代わって本人を保証することのできる者に限る。

2 保証人は、その保証する学生の在学中の事情にその責任を負うものとする。

3 学生は、保証人の変更又は保証人の身分・住所・職業等に異動が生じた時は、直ちに届け出なければならない。

（編入学）

第20条 次の各号の一に該当する者で、本大学への入学を志願する者がある時は、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

一 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学した者

二 短期大学を卒業した者

三 高等専門学校を卒業した者

四 修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上である専修学校の専門課程を修了した者

2 編入学の出願手続等は、別に定める。

（再入学）

第21条 第45条により本大学を中途退学した者が再び入学を願った時は、教授会の意見を聴いて学長が、相当年次への入学を許可することがある。

（転部・転科）

第22条 本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転部もしくは転科を希望する者は、所属学部長の承認を得て志願することができる。

2 転部または転科は、志願先の教授会で審議し、学長が相当年次に転部または転科を許可する。

（二重学籍の禁止）

第23条 本大学の学生は、同時に他の大学に在学することはできない。

（編入学・再入学者の既修得単位等の取り扱い）

第24条 第20条及び第21条の規定により入学を許可された者の、既に履修した授業科目及び修得した単位数の取り扱い並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて学長が定める。

第8章 教育課程、履修方法等

（授業科目）

第25条 学部開設する授業科目及び単位数は、別表（一）のとおりとする。

（授業の方法）

第25条の2 授業は、講義、演習、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う。

2 前項の授業は、文部科学大臣の定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 前項の授業方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

（単位の計算方法）

第26条 各授業科目の単位は、45時間の学修を必要とする授業内容をもって1単位とすることを標準とし、当該授業による教育方法、教育効果及び授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単

位数を計算する。

- 一 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- 二 実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
- 三 卒業研究等については、その学修の成果を評価するものとし、所定の単位を与える。

(履修方法)

第27条 学生は、入学の際第2条に規定する1学科を選び、これを専攻するものとする。

2 履修方法に関し必要な事項は学部履修規程で定める。

(卒業に必要な単位)

第28条 学生の4年間に修得すべき授業科目及び単位数の最低限度は、各学部開設する別表(一)に掲げる授業科目に基づき、文学部にあつては二松学舎共通科目22単位、文学部共通科目10単位、学科共通科目18単位、専門科目74単位の計124単位とする。国際政治経済学部国際政治経済学科にあつては二松学舎共通科目22単位、国際政治経済学部共通科目12単位、学科共通科目20単位、専門科目70単位の計124単位とし、国際経営学科にあつては、二松学舎共通科目22単位、国際政治経済学部共通科目12単位、学科共通科目16単位、専門科目74単位の計124単位とする。

(教育職員免許状を取得しようとする者の履修方法)

第29条 教育職員免許状の授与を受けようとする者は、前条各号のほか、その免許状の種類に応じて教育職員免許法に規定するそれぞれの課程の科目の単位を修得しなければならない。

2 前項の教育職員免許状の種類及び科目は、次のとおりである。

文学部	中学校教諭一種免許状	国語
国文学科	高等学校教諭一種免許状	国語・書道
文学部	中学校教諭一種免許状	国語・中国語
中国文学科	高等学校教諭一種免許状	国語・書道・中国語
文学部	中学校教諭一種免許状	社会
歴史文化学科	高等学校教諭一種免許状	地理歴史
国際政治経済学部国際政治経済学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民

(司書教諭の資格を取得しようとする者の履修方法)

第30条 司書教諭の資格を取得しようとする者は、教育職員免許法に定める教諭の普通免許状を有し、学校図書館司書教諭講習規程に定める授業科目及び単

位数を修得しなければならない。

(司書の資格を取得しようとする者の履修方法)

第30条の2 司書の資格を取得しようとする者は、図書館法施行規則に基づき本学に定める図書館司書に関する科目及び単位数を修得しなければならない。

(学芸員の資格を取得しようとする者の履修方法)

第30条の3 学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法施行規則に基づき本学に定める学芸員養成のための科目及び単位数を修得しなければならない。

(日本語教員養成課程の履修方法)

第31条 日本語教員の資格を取得しようとする者は、日本語教員養成のための科目の単位を修得しなければならない。

(履修の手続)

第32条 学生は、毎学年の始めにその学年度の履修科目を選択決定の上、届け出なければならない。ただし、秋学期に復学する者及び本学則第14条ただし書きに該当する者の場合は、学期の始めに届け出ることができる。

2 実施方法に関し必要な事項は学部履修規程で定める。

(試験及び単位の認定)

第33条 授業科目の単位の認定は、試験による。

試験は、各学期ごとに、又は年度末に行い、試験に合格した者には、授業科目所定の単位を与える。ただし、卒業研究等については、その学修の成果をもって試験の成績にかえることができる。

2 他大学等における履修単位の認定は、第37・38・39条の規定によるものとする。

(受験の条件)

第34条 試験は、履修した授業科目でなければ、受けることができない。

2 授業出席回数が定められた回数に満たない者は、試験を受けることができない。

3 授業料等所定の学納金未納の者は、その納入後でなければ試験を受けることができない。

4 休学中の者は、試験を受けることができない。

(追試験及び再試験)

第35条 病気その他やむを得ない事情で試験を受けられなかった者は、追試験を願い出ることができる。

2 前項のほか、特に本大学が必要と認めた者に対し、再試験を行うことがある。

3 追試験及び再試験については、別に定める。

(成績の評価)

第36条 試験の評価は、S(100~90点)・A(89~80

点)・B (79～70点)・C (69～60点)・D (59～0点) の5種の標語をもって表し、S・A・B・Cを合格とする。なお、他大学等による単位の認定はZと表記する。

2 成績評価による学業成績を総合的に判断する指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる。GPAは単年度及び通算の2通りを算出する。

3 前項に定めるGPAは、成績評価のうち、Sに4.0、Aに3.0、Bに2.0、Cに1.0、不合格の成績評価に0をそれぞれ成績評価係数として与え、各授業科目の単位数にその成績評価係数を乗じて得た積の合計を、履修した授業科目の総単位数で除して算出する。ただし、Zとして表記された科目は除く。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第37条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議により、学生が当該他大学等において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学において修得したものとみなすことができる。その規定は、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第38条 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、必要な単位を与えることがある。その規定は、別に定める。

2 前項により与えることのできる単位数は、前条により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第39条 教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する以前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位 (第54条に規定する科目等履修生として修得した単位を含む) を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する以前に行った前条第一項に規定する学修を本大学における履修とみなし必要な単位を与えることがある。

3 前二項により修得したものとみなし又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについて合わせて60単位を超えないものとする。その規定は、別に定める。

(入学前に一定の単位を修得した者の修業年限の通算)

第39条の2 教育上有益と認めるときは、本学の学生

以外の者が本学の科目等履修生として一定の単位を修得した後に本学に入学する場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、修得した単位数、その修得に要した期間その他本学が必要と認める事項を勘案し、相当の期間を本学の修業年限の2分の1を超えない範囲で修業年限に通算することができる。その期間は教授会の意見を聴いて学長が定める。

第9章 卒業及び学位

(卒業)

第40条 4ヵ年以上在学し、第28条の規定により所定の科目を履修し、文学部にあつては124単位以上、国際政治経済学部にあつては124単位以上を取得した者には教授会の意見を聴いて学長が承認した後、卒業証書・学位記を授与する。

2 卒業の時期は、年度末とする。ただし、学部教授会の意見を聴き学長が承認した場合は、春学期の終りとすることができる。

(学位)

第41条 本大学で授与する学位は、次のとおりとする。

文学部	国文学科	学士 (文学)
	中国文学科	学士 (文学)
	都市文化デザイン学科	学士 (文学)
	歴史文化学科	学士 (文学)
国際政治経済学部	国際政治経済学科	学士 (国際政治経済学)
	国際経営学科	学士 (経営学)

第10章 休学・退学・転学・留学等

(欠席)

第42条 学生が病気その他特別な事由により欠席する時は、必ずその理由を添えて届けなければならない。

(休学)

第43条 学生が病気その他特別な事由により6ヵ月以上にわたって通学できない場合は、所定の手続きを経て休学することができる。

2 病気のため修学することが適当でない認められる者で、前項の手続を行わない者については、学長は休学を命ずることができる。

3 休学期間は、1年以内とする。ただし、休学理由の事情等を勘案し、休学の始期 (学期の途中から休学する者の場合は、当該学期の始期とみなす) から起算して2年間を上限として学期単位で延長を認めることができる。

4 休学期間は、通算して4年を超えることはできない。

5 前項の休学期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

(復学)

第44条 休学中の者は、休学の事由が消滅した時は、所定の手続きを経て復学することができる。

2 休学者の復学は、各学期の始めとする。

(退学)

第45条 学生がやむを得ない事情で退学する時は、理由を添えて保証人連署の上、所定の手続きを経なければならない。

(除籍)

第46条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- 一 授業料その他規定された納入金を納入しない者
- 二 所定の在学年限を超えた者
- 三 第43条第3項及び第4項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

(転学)

第47条 本大学から他の大学に入学又は転学を希望する者は、転学願を提出し学長の許可を得なければならない。

2 他の大学から本学への転学を希望する者がいるときは、学長はその理由によってこれを許可することがある。

(留学)

第48条 教育上有益と認めるときは、学生が外国の大学又は短期大学（以下「外国の大学等」という）に留学することを許可することがある。

2 前項の規定により外国の大学等に留学した期間は、第12条の修業年数に算入することができる。

3 外国の大学等で修得した単位については、第37条の規定を準用する。

4 他大学等における修得単位と外国の大学等における修得単位の双方を認定する場合には、双方を合わせて60単位を超えないものとする。

5 留学に関する規定は、別に定める。

第11章 賞罰

(褒賞)

第49条 本大学生で、学術が優秀で操行の善良な者は、教授会の議を経て、これを賞することができる。

(懲戒)

第50条 本大学生で、学則に違反し、校内の風紀を乱し、校具を汚損し、又は学生の本分に反する行為のあった者は、教授会の意見を聴いて、その軽重に従って学長が懲戒を行う。

2 懲戒は訓告・停学・退学の三種とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して、これを行う。

- 一 性行不良で改善の見込がないと認められる者

二 学力劣等で成業の見込がないと認められる者

三 正当の理由がなくて出席常でない者

四 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 試験の不正行為に対する処分等については、別に定める。

第12章 奨学制度

第51条 (削除)

(奨学生)

第52条 本大学の学生で、経済的な理由により学費の支弁が困難と認められ、人物・学業成績等の評価が良好な者には、奨学金を給付する。

2 奨学生に関する規定は、別に定める。

(奨学生の取り消し)

第53条 奨学生に採用された者が、学業研究を怠り、もしくは不都合な行為があった時は、支給された奨学金を返納させることがある。

第13章 科目等履修生・委託研修生・外国人留学生

(科目等履修生)

第54条 本大学の学生以外の者で、学部開設された1又は複数の授業科目の履修を希望する者がある時は、学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として、これを許可することができる。

2 科目等履修生は、1科目又は数科目を履修する科目履修生、及び特定の分野の複数の科目を履修するコース履修生とする。

3 科目等履修の期間は、当該年度内の定められた期間とする。ただし、引続き履修を希望する者には許可することがある。

4 科目等履修生で、その履修科目の試験に合格した者には、その科目に関する単位を認定する。

5 科目等履修生の納付金は、別表(三)のとおりとする。

6 科目等履修生について必要な事項は、別に定める。

(委託研修生)

第55条 公共機関等から、その所属職員の研修について委託の願い出がある時は、正規の学生の就学を妨げない範囲において、受け入れを許可することができる。

2 前項の委託研修生の委託料は、別表(三)のとおりとする。

3 委託研修生の受け入れ手続等については、別に定める。

(外国人留学生)

第56条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入学し、本大学に入学を希望する者がある時は、教授会で選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生の受け入れ方法並びに科目履修等の特例については、別に定める。

第14章 学生納付金等

(学生納付金等)

第57条 本大学における入学検定料、入学金及び授業料等学生納付金の額は別表(二)のとおりとする。

2 前項に規定する学生納付金等の納入時期、方法等については、別に定める。

(休学の場合の学生納付金)

第58条 休学を許可された者は、休学期間に応じて別表(二)に定める在籍料を納入するものとする。

2 前項に規定する在籍料を含めた学生納付金等の扱いは別に定める。

(納付した授業料等)

第59条 既に納入した入学金・授業料等は、いかなる理由があってもこれを返還しない。

ただし、入学試験合格者のうち、指定した期日までに入学辞退届を提出した者には、入学金を除く学生納付金を返還することができる。

第15章 公開講座

(公開講座)

第60条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設することがある。

第16章 図書館

(図書館)

第61条 本大学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規定は、別に定める。

第17章 研究所

(研究所)

第62条 本大学に、附置研究所を置く。

2 附置研究所に関する規定は、別に定める。

第18章 保健施設

(保健施設)

第63条 本大学は、教職員及び学生のために医務室を設置し、一般養護に関する任務のほか、健康増進に関する指導を行う。

2 医務室の職員は次のとおりとする。

医師・保健婦

3 医務室に関する規定は、別に定める。

第19章 学寮

(学寮)

第64条 本大学に、学寮を設けることができる。

2 学寮に関する規定は、別に定める。

附則

1 本学則は昭和36年4月1日から実施する。

2 本学則は昭和37年4月1日から一部改正実施する。

3 本学則は昭和38年4月1日から一部改正実施する。

4 本学則は昭和39年4月1日から一部改正実施する。

5 本学則は昭和40年4月1日から一部改正実施する。

6 本学則は昭和41年4月1日から一部改正実施する。

7 本学則は昭和42年4月1日から一部改正実施する。

8 本学則は昭和46年4月1日から一部改正実施する。

改正学則については、昭和46年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

9 本学則は昭和47年4月1日から一部改正実施する。

改正学則については、昭和47年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

10 本学則は昭和49年4月1日から一部改正実施する。

改正学則については、昭和49年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

11 本学則は昭和50年4月1日から一部改正実施する。

改正学則については、昭和50年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

12 本学則は昭和51年4月1日から一部改正実施する。

改正学則については、昭和51年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

13 本学則は昭和52年4月1日から一部改正実施する。

改正学則については、昭和52年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

14 本学則は昭和53年4月1日から一部改正実施する。

改正学則については、昭和53年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

15 本学則は昭和54年4月1日から一部改正実施する。

改正学則については、昭和54年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

16 本学則は昭和55年4月1日から一部改正実施する。

ただし別表(四)については、昭和55年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

17 本学則は昭和56年4月1日から一部改正施行する。

ただし別表(二)及び(四)については、昭和56年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

18 本学則は昭和57年4月1日から一部改正施行する。

ただし第2条並びに別表(二)、(三)及び(四)については、昭和57年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。

- 19 本学則は昭和58年4月1日から一部改正施行する。ただし第11条第1項及び別表(一)、(三)、(四)については、昭和58年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。
- 20 本学則は昭和59年4月1日から一部改正施行する。
- 21 本学則は昭和60年4月1日から一部改正施行する。
- 22 本学則は昭和62年4月1日から一部改正施行する。ただし別表(二)及び別表(四)については、昭和62年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。
- 23 本学則は昭和63年4月1日から一部改正施行する。ただし第11条第1項・第17条及び別表(一)については、昭和63年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。
- 24 本学則は平成元年4月1日から施行する。ただし別表(一)(二)については平成元年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。
- 25 本学則は平成2年4月1日から施行する。ただし第28条及び授業料については平成2年度入学者から適用し、現に在学する者については適用しない。
- 26 本学則は平成3年4月1日から施行する。ただし第2条の国際政治経済学部総定員については学年進行によるものとし、別表(二)については平成3年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。
- 27 本学則は平成3年10月1日から施行する。ただし、別表(二)中の学生納付金については平成4年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。(平成3年7月8日)
- 28 本学則は、平成4年1月1日から施行する。ただし、別表(一)については平成4年4月1日から適用する。(平成3年12月17日)
- 29 本学則は、平成5年4月1日から施行する。(平成5年3月16日)
- 30 本学則は、平成6年4月1日から施行する。ただし、別表(二)の学生納付金については平成6年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。(平成6年3月15日)
- 31 本学則は、平成6年7月12日から施行する。(平成6年7月12日)
- 32 本学則は、平成7年4月1日から施行する。(平成7年2月21日)
- 33 本学則は、平成8年4月1日から施行する。(平成7年12月19日)
- 34 本学則は、平成8年4月1日から施行する。(平成8年3月25日)
- 35 本学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、第28条及び別表(一)(二)については平成9年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。(平成9年3月18日)
- 36 本学則は、平成10年4月1日から施行する。(平成9年7月22日)
- 37 本学則は、平成10年7月1日から施行する。ただし、別表(二)の学生納付金については平成11年度入学者から適用し、現に在学する者については、従前の規定による。(平成10年6月23日)
- 38 本学則は、平成11年4月1日から施行する。(平成11年2月23日)
- 39 本学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、別表(二)学生納付金については、平成12年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。(平成11年6月22日)
- 40 本学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、別表(一)については、平成12年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。(平成12年1月25日)
- 41 本学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、別表(二)学生納付金については、平成13年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。(平成12年7月25日)
- 42 本学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、別表(一)中の国際政治経済学部のカリキュラムについては、平成13年度入学者から適用し、現に在学する者については、従前の規定による。(平成13年3月21日)
- 附 則** (平成13年7月24日)
- 43 本学則は、平成13年8月1日から施行する。ただし、別表(二)学生納付金については、平成14年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。
- 附 則** (平成14年3月19日)
- 44 本学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成14年7月23日)
- 45 本学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、別表(二)学生納付金については、平成15年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。
- 附 則** (平成15年3月27日)
- 46 本学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、別表(一)中の国際政治経済学部カリキュラムの配当年次については、平成16年4月1日から適用

し、平成16年3月31日までは従前の規定による。

附 則 (平成15年6月24日)

47 本学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、別表(二)学生納付金については、平成16年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。

附 則 (平成16年3月23日)

48 本学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第26条、第28条、第33条第1項及び別表(一)について、平成16年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。

附 則 (平成17年3月22日)

49 本学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年11月28日)

50 本学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年2月27日)

51 本学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年2月26日)

52 本学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年2月24日)

53 本学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年2月23日)

54 本学則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、別表(一)の「教職に関する専門科目」については、平成22年度入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。

附 則 (平成23年2月22日)

55 本学則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年2月28日)

56 本学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、別表(一)については、平成24年度の入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。

附 則 (平成25年2月26日)

57 本学則は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第28条及び別表(一)については、平成25年度の入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。また、第58条及び別表(二)については、現に在学する者については、平成26年4月1日から適用し、平成25年度の扱いは従前の規定による。

附 則 (平成26年2月25日)

58 本学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年7月29日)

59 本学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、別表(二)学生納付金については、平成27年度

入学者から適用し、現に在学する者については従前の規定による。

附 則 (平成27年3月24日)

60 本学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第40条に規定する卒業に関し国際政治経済学部の取得単位数については、平成25年度の入学者から適用し、平成24年度以前に入学した者については従前の規定による。

附 則 (平成28年3月22日)

61 本学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、別表(一)については、平成28年度の入学者から適用し、現に在学する者については、従前の規定による。

附 則 (平成28年4月26日)

62 本学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年3月21日)

63 本学則は、平成29年4月1日から施行する。

①学科新設(文学部都市文化デザイン学科)及び入学定員の減員(文学部中国文学科)に係る経過措置として、平成29年度から平成31年度までの間は文学部中国文学科及び都市文化デザイン学科の入学定員及び収容定員については、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

《平成29(2017)年度》

学 部	学 科	入学定員	収容定員
文学部	中国文学科	90	510
	都市文化デザイン学科	50	50

《平成30(2018)年度》

学 部	学 科	入学定員	収容定員
文学部	中国文学科	90	460
	都市文化デザイン学科	50	100

《平成31(2019)年度》

学 部	学 科	入学定員	収容定員
文学部	中国文学科	90	410
	都市文化デザイン学科	50	150

②別表(一)については、平成29年度の入学者から適用し、現に在学する者については、従前の規定による。

附 則 (平成29年3月21日)

64 本学則は、平成30年4月1日から施行する。

①別表(一)については平成30年度入学者から適用し、現に在籍する者については従前の規定による。
②学科新設(国際政治経済学部国際経営学科)及び入学定員の増員(文学部国文学科)に係る経過措置として、平成30年度から平成32年度までの間は文

学部国文学科、国際政治経済学部国際政治経済学科及び国際経営学科の入学定員及び収容定員については、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

《平成30（2018）年度》

学部	学科	入学定員	収容定員
文学部	国文学科	300	1,080
	中国文学科	90	460
	都市文化デザイン学科	50	100
	計	440	1,640
国際政治経済学部	国際政治経済学科	160	760
	国際経営学科	80	80
	計	240	840
合計		680	2,480

《平成31（2019）年度》

学部	学科	入学定員	収容定員
文学部	国文学科	300	1,120
	中国文学科	90	410
	都市文化デザイン学科	50	150
	計	440	1,680
国際政治経済学部	国際政治経済学科	160	720
	国際経営学科	80	160
	計	240	880
合計		680	2,560

《平成32（2020）年度》

学部	学科	入学定員	収容定員
文学部	国文学科	300	1,160
	中国文学科	90	360
	都市文化デザイン学科	50	200
	計	440	1,720
国際政治経済学部	国際政治経済学科	160	680
	国際経営学科	80	240
	計	240	920
合計		680	2,640

附 則（平成30年3月28日）

65 本学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、別表（一）については平成30年度入学者から適用し、現に在籍する者については従前の規定による。

附 則（平成30年4月24日）

66 本学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、別表（一）については、平成31年度の入学者から適用し、現に在学する者については、従前の規定による。

附 則（平成30年7月24日）

67 本学則は、平成30年7月24日から施行する。

附 則（平成31年3月26日）

68 本学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則（2019年4月23日）

69 本学則は、2020年4月1日から施行する。ただし、別表（二）については、2020年度の入学者から適用し、現に在籍する者については従前の規定による。

附 則（2020年2月25日）

70 本学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則（2021年3月23日）

71 本学則は、2021年4月1日から施行する。

附 則（2021年3月23日）

72 本学則は、2022年4月1日から施行する。

①学科新設（文学部歴史文化学科）、入学定員の減員（文学部国文学科）及び文学部都市文化デザイン学科における特定地域内学部収容定員の増加に係る外国人留学生に限定した編入学定員枠（以下、「外国人留学生編入学枠」という。）の設定に伴う経過措置として、2022年度から2024年度までの間は、文学部の入学定員及び収容定員については、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

《2022年度》

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	国文学科	240		1,140
	中国文学科	90		360
	都市文化デザイン学科	50	30	230
	歴史文化学科	60		60
計		440	30	1,790

《2023年度》

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	国文学科	240		1,080
	中国文学科	90		360
	都市文化デザイン学科	50	30	260
	歴史文化学科	60		120
	計	440	30	1,820

《2024年度》

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	国文学科	240		1,020
	中国文学科	90		360
	都市文化デザイン学科	50	30	260
	歴史文化学科	60		180
	計	440	30	1,820

②別表（一）については、2022年度の入学者から適用し、現に在籍する者については従前の規定による。ただし、2017年度以降2021年度までの間に文学部都市文化デザイン学科に入学した者に適用される従前の別表（一）において、2021年度以降2024年度までの間に外国人留学生編入学枠によって編入学する者のみが履修できる科目として、以下の科目を追加する。

区分	授業科目名	必修単位	選択単位	配当年次	備考
都市文化デザイン学科	文化ビジネス特殊研究①		2	3	外国人留学生特別枠編入学者対象科目
	文化ビジネス特殊研究②		2	3	
	アニメーション文化特殊研究①		2	3	
	アニメーション文化特殊研究②		2	3	

附 則（2021年12月21日）

73 本学則は、2021年12月21日から施行する。

なお、附則72により2021年3月23日に改正し、2022年4月1日から施行する学則における別表（二）についても、今回の改正と同様の改正を行う。

附 則（2022年2月22日）

74 本学則は、2022年4月1日から施行する。

附 則（2022年3月22日）

75 本学則は、2022年4月1日から施行する。

別表（一）

<大学共通>

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
基礎ゼミ ナール	基礎ゼミナール	必修	2	1	
	二松学舎入門	必修	2	1	
ICT教育 科目	ITリテラシー①	必修	2	1・2	
キャリア 教育科目	キャリアデザイン	必修	2	1・2	
数理・デー タ教育科目	データサイエンス入 門	必修	2	2	
未来ビジ ョン科目	中国語基礎演習①A	必修	1	1・2	中国文学科のみ
	中国語基礎演習①B	必修	1	1・2	
	中国語基礎演習②A	必修	1	1・2	
	中国語基礎演習②B	必修	1	1・2	
	英語4技能A	必修	1	1・2	国際政治経済学 科、国際経営学 科のみ
	英語4技能B	必修	1	1・2	
	トピックA	必修	1	1・2	
	トピックB	必修	1	1・2	
※総合教養科目 言 語と文学の外国語科 目※から4科目選択 必修。	必修	1	1・2	国文学科	
	必修	1	1・2	都市文化デザイ ン学科	
	必修	1	1・2	歴史文化学科	
一松学舎共 通科目	日本国憲法	選択	2	1・2	文学部のみ
	言語学	選択	2	1・2	国際政治経済学 部のみ
	民俗学	選択	2	1・2	
	哲学	選択	2	1・2	
	倫理学	選択	2	1・2	
	法学	選択	2	1・2	
	宗教学	選択	2	1・2	
	心理学	選択	2	1・2	
	ジェンダー論	選択	2	1・2	
	総合教養科 目	日本史	選択	2	1・2
西洋史		選択	2	1・2	
美術史		選択	2	1・2	
仏教史		選択	2	1・2	
芸術学		選択	2	1・2	
東洋史		選択	2	1・2	
歴史と文 化					

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
歴史と 文化	欧米文化史	選択	2	1・2	
	総合英語ⅠA	選択	1	1・2	※
言語と文 学	総合英語ⅠB	選択	1	1・2	※
	総合英語ⅡA	選択	1	1・2	※
	総合英語ⅡB	選択	1	1・2	※
	総合英語ⅢA	選択	1	1・2	※
	総合英語ⅢB	選択	1	1・2	※
	総合英語ⅣA	選択	1	1・2	※
	総合英語ⅣB	選択	1	1・2	※
	総合英語（文）A	選択	1	1・2	※
	総合英語（文）B	選択	1	1・2	※
	短期海外研修①	選択	2	1・2	集中
	短期海外研修②	選択	2	1・2	集中
	短期海外研修③	選択	2	1・2	集中
	短期海外研修④	選択	2	1・2	集中
	ドイツ語①A	選択	1	1・2	※
	ドイツ語①B	選択	1	1・2	※
	ドイツ語②A	選択	1	1・2	※
	ドイツ語②B	選択	1	1・2	※
	フランス語①A	選択	1	1・2	※
	フランス語①B	選択	1	1・2	※
	フランス語②A	選択	1	1・2	※
フランス語②B	選択	1	1・2	※	
ロシア語①A	選択	1	1・2	※	
ロシア語①B	選択	1	1・2	※	
ロシア語②A	選択	1	1・2	※	
ロシア語②B	選択	1	1・2	※	
中国語①A	選択	1	1・2	※	
中国語①B	選択	1	1・2	※	
中国語②A	選択	1	1・2	※	
中国語②B	選択	1	1・2	※	
韓国語①A	選択	1	1・2	※	
韓国語①B	選択	1	1・2	※	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
二松学舎共通科目 総合教養科目 言語と文学	韓国語②A	選択	1	1・2	※	
	韓国語②B	選択	1	1・2	※	
	日本語①A	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語①B	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語②中級A	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語②中級B	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語②上級A	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語②上級B	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語③中級A	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語③中級B	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語③上級ⅠA	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語③上級ⅠB	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語③上級ⅡA	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語③上級ⅡB	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語③上級ⅢA	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語③上級ⅢB	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語④A	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本語④B	選択	1	1・2	留学生対象	
	日本事情A	選択	2	1・2	留学生対象	
	日本事情B	選択	2	1・2	留学生対象	
	日本文学	選択	2	1・2		
	中国文学	選択	2	1・2		
	欧米文学	選択	2	1・2		
	漢文学	選択	2	1・2		
	日本語教育概論A	選択	2	1・2		
	日本語教育概論B	選択	2	1・2		
	外国大学科目①	選択	2	2		
	外国大学科目②	選択	2	2		
	外国大学科目③	選択	2	2		
	外国大学科目④	選択	2	2		
	外国大学科目⑤	選択	2	2		
	科学と情報	環境科学	選択	2	1・2	
		宇宙科学	選択	2	1・2	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
二松学舎共通科目 総合教養科目 科学と情報	地理学	選択	2	1・2		
	基礎数学	選択	2	1・2		
	情報科学	選択	2	2		
	プログラミング入門A	選択	2	2		
	プログラミング入門B	選択	2	2		
	情報処理アドヴァンス	選択	2	2		
	データベース演習	選択	2	2		
	地球環境論	選択	2	1・2		
	情報システム概論	選択	2	1・2		
	Webデザイン	選択	2	2		
	健康と福祉	健康スポーツ科学	選択	2	1・2	
		健康スポーツ①	選択	1	1・2	
		健康スポーツ②	選択	1	1・2	
		シーズンスポーツ①	選択	2	1・2	集中
		シーズンスポーツ②	選択	2	1・2	集中
		学校ボランティア論	選択	2	1・2	
		介護等体験事前指導	選択	2	2	
		介護等体験	選択	1	3	

<文学部>

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
文学部共通科目	文学入門	必修	2	1	
	漢学と文章表現A	必修	2	1	
	漢学と文章表現B	必修	2	1	
	人文学とビジネスデザイン	選択	2	2	2科目4単位選択必修
	人文学と教育	選択	2	2	
	人文学とコミュニケーション	選択	2	2	

<国文学科>

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
学科共通科目	日本文学概論A	必修	2	1	
	日本文学概論B	必修	2	1	
	日本語学概論①A	必修	2	1	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
学科 共通科目	日本語学概論①B	必修	2	1		
	日本文学全史A	必修	2	1		
	日本文学全史B	必修	2	1		
	漢文学概論	選択	2	1・2	3科目6単位選択 必修	
	古典文学研究入門	選択	2	1・2		
	近代文学研究入門	選択	2	1・2		
	表象文化研究入門	選択	2	1・2		
専門科目	ゼミナール	プレゼミ（国文学・ 上代）	選択	2	2	2科目4単位選択 必修
		プレゼミ（国文学・ 中古）	選択	2	2	
		プレゼミ（国文学・ 中世）	選択	2	2	
		プレゼミ（国文学・ 近世）	選択	2	2	
		プレゼミ（国文学・ 近代）	選択	2	2	
		プレゼミ（映像・演 劇・メディア①）	選択	2	2	
		プレゼミ（映像・演 劇・メディア②）	選択	2	2	
		プレゼミ（芸能演 劇）	選択	2	2	
		プレゼミ（日本語 学・古典語）	選択	2	2	
		プレゼミ（日本語 学・現代語）	選択	2	2	
	ゼミナール I A	必修	2	3		
	ゼミナール I B	必修	2	3		
	ゼミナール II A	必修	2	4		
	ゼミナール II B	必修	2	4		
	卒業研究	必修	6	4		
	専門科目 I	国文学史 I A	選択	2	2・3	
		国文学史 I B	選択	2	2・3	
国文学史 II A		選択	2	2・3		
国文学史 II B		選択	2	2・3		
国文学史 III A		選択	2	2・3		
国文学史 III B		選択	2	2・3		
漢文学 I A		選択	1	2・3		
漢文学 I B		選択	1	2・3		
漢文学 II A		選択	1	2・3		
漢文学 II B		選択	1	2・3		
表象メディア文化講 義A		選択	2	2・3		

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 I	表象メディア文化講 義B	選択	2	2・3	
	芸能・演劇文化講義 A	選択	2	2・3	
	芸能・演劇文化講義 B	選択	2	2・3	
	映像・演劇文化講義 A	選択	2	2・3	
	映像・演劇文化講義 B	選択	2	2・3	
	芸能・演劇史①	選択	2	2・3	
	芸能・演劇史②	選択	2	2・3	
	芸能・演劇史③	選択	2	2・3	
	芸能・演劇史④	選択	2	2・3	
	都市文化デザイン学 講義①	選択	2	2・3	
	都市文化デザイン学 講義②	選択	2	2・3	
	異文化コミュニケー ション	選択	2	2・3	
	言語の習得と理解の 過程	選択	2	2・3	
	日本語教育史	選択	2	2・3	
	日本文化史	選択	2	2・3	
	日本社会史	選択	2	2・3	
	現代日本研究A	選択	2	2・3	
	現代日本研究B	選択	2	2・3	
	国文学講義①A	選択	2	2・3	
	国文学講義①B	選択	2	2・3	
	国文学講義②A	選択	2	2・3	
	国文学講義②B	選択	2	2・3	
	国文学講義③A	選択	2	2・3	
	国文学講義③B	選択	2	2・3	
	国文学講義④A	選択	2	2・3	
	国文学講義④B	選択	2	2・3	
	国文学講義⑤A	選択	2	2・3	
	国文学講義⑤B	選択	2	2・3	
	国文学講義⑥A	選択	2	2・3	
	国文学講義⑥B	選択	2	2・3	
日本文学講読①A	選択	2	2・3		
日本文学講読①B	選択	2	2・3		
日本文学講読②A	選択	2	2・3		

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 I	日本文学講読②B	選択	2	2・3	
	日本文学講読③A	選択	2	2・3	
	日本文学講読③B	選択	2	2・3	
	日本文学講読④A	選択	2	2・3	
	日本文学講読④B	選択	2	2・3	
	日本文学講読⑤A	選択	2	2・3	
	日本文学講読⑤B	選択	2	2・3	
	日本文学講読⑥A	選択	2	2・3	
	日本文学講読⑥B	選択	2	2・3	
	比較文学・文化講読 A	選択	2	2・3	
	比較文学・文化講読 B	選択	2	2・3	
	書道 I A	選択	1	2・3	
	書道 I B	選択	1	2・3	
	書道 II A	選択	1	2・3	
	書道 II B	選択	1	2・3	
	書道理論A	選択	2	2・3	
	書道理論B	選択	2	2・3	
	書道鑑賞A	選択	2	2・3	
	書道鑑賞B	選択	2	2・3	
	表象メディア講義① A	選択	2	2・3	
	表象メディア講義① B	選択	2	2・3	
	表象メディア講義② A	選択	2	2・3	
	表象メディア講義② B	選択	2	2・3	
	古典芸能実践①A	選択	2	2・3	
	古典芸能実践①B	選択	2	2・3	
	古典芸能実践②A	選択	2	2・3	
	古典芸能実践②B	選択	2	2・3	
	メディア・コミュニ ケーション講義	選択	2	2・3	
	都市文化デザイン学 講義③	選択	2	2・3	
	映像制作演習	選択	2	2・3	
	コンテンツ企画演習	選択	2	2・3	
	日本語学講義①A	選択	2	2・3	
	日本語学講義①B	選択	2	2・3	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
専門科目 I	日本語学講義②A	選択	2	2・3		
	日本語学講義②B	選択	2	2・3		
	日本語の構造①	選択	2	2・3		
	日本語の構造②	選択	2	2・3		
	中国語中級会話①	選択	2	2・3		
	中国語中級会話②	選択	2	2・3		
	韓国語中級会話①	選択	2	2・3		
	韓国語中級会話②	選択	2	2・3		
	比較文化講義A	選択	2	2・3		
	比較文化講義B	選択	2	2・3		
	専門科目 II	国文学研究①A	選択	2	3・4	
		国文学研究①B	選択	2	3・4	
		国文学研究②A	選択	2	3・4	
国文学研究②B		選択	2	3・4		
国文学研究③A		選択	2	3・4		
国文学研究③B		選択	2	3・4		
国文学研究④A		選択	2	3・4		
国文学研究④B		選択	2	3・4		
国文学研究⑤A		選択	2	3・4		
国文学研究⑤B		選択	2	3・4		
国文学研究⑥A		選択	2	3・4		
国文学研究⑥B		選択	2	3・4		
比較文学・文化研究 ①A		選択	2	3・4		
比較文学・文化研究 ①B		選択	2	3・4		
表象メディア研究① A		選択	2	3・4		
表象メディア研究① B		選択	2	3・4		
表象メディア研究② A		選択	2	3・4		
表象メディア研究② B		選択	2	3・4		
芸能・演劇研究①A		選択	2	3・4		
芸能・演劇研究①B		選択	2	3・4		
芸能・演劇研究②A	選択	2	3・4			
芸能・演劇研究②B	選択	2	3・4			
芸能・演劇研究③A	選択	2	3・4			

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
専門科目	専門科目Ⅱ	芸能・演劇研究③B	選択	2	3・4	
		日本語学研究①A	選択	2	3・4	
		日本語学研究①B	選択	2	3・4	
		日本語学研究②A	選択	2	3・4	
		日本語学研究②B	選択	2	3・4	
		対照言語学研究①	選択	2	3・4	
		対照言語学研究②	選択	2	3・4	
		対照言語学研究③	選択	2	3・4	
		日本文学と思想A	選択	2	3・4	
		日本文学と思想B	選択	2	3・4	
		古典文学特殊研究A	選択	2	3・4	
		古典文学特殊研究B	選択	2	3・4	
		近代文学特殊研究A	選択	2	3・4	
		近代文学特殊研究B	選択	2	3・4	
		現代文学特殊研究A	選択	2	3・4	
		現代文学特殊研究B	選択	2	3・4	
		創作実践①A	選択	2	3・4	
		創作実践①B	選択	2	3・4	
		創作実践②A	選択	2	3・4	
		創作実践②B	選択	2	3・4	
		創作実践③A	選択	2	3・4	
		創作実践③B	選択	2	3・4	
		古典芸能実践③A	選択	2	3・4	
		古典芸能実践③B	選択	2	3・4	
		古典芸能実践④A	選択	2	3・4	
		古典芸能実践④B	選択	2	3・4	
		芸能・演劇特殊研究①A	選択	2	3・4	
		芸能・演劇特殊研究①B	選択	2	3・4	
		芸能・演劇特殊研究②A	選択	2	3・4	
		芸能・演劇特殊研究②B	選択	2	3・4	
		表象メディア特殊研究A	選択	2	3・4	
		表象メディア特殊研究B	選択	2	3・4	
		日本語学特殊研究①A	選択	2	3・4	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
専門科目	専門科目Ⅱ	日本語学特殊研究①B	選択	2	3・4	
		日本語学特殊研究②A	選択	2	3・4	
		日本語学特殊研究②B	選択	2	3・4	
		言語学概論A	選択	2	3・4	
		言語学概論B	選択	2	3・4	
		言語と社会A	選択	2	3・4	
		言語と社会B	選択	2	3・4	
		履修要件	二松学舎共通科目から22単位（うち総合教養科目から8単位）、学部共通科目から10単位、学科共通科目から18単位、専門科目から74単位以上、計124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間）） なお、専門科目のうち専門科目Ⅰの科目から18単位、専門科目Ⅱの科目から18単位を選択必修とする。専門科目には、プレゼミ（4単位選択必修）、ゼミナールⅠ、Ⅱ（各4単位必修）、卒業研究（6単位必修）、他学科他専門科目（20単位選択必修）を含む。			

<中国文学科>

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
学科共通科目	中国学入門A	必修	1	1	
	中国学入門B	必修	1	1	
	基礎訓読法A	必修	1	1	
	基礎訓読法B	必修	1	1	
	日本語学概論②A	必修	2	1	
	日本文学概説A	必修	2	1	
	中国文学史A	選択	2	1・2	10単位以上選択必修
	中国文学史B	選択	2	1・2	
	中国思想史A	選択	2	1・2	
	中国思想史B	選択	2	1・2	
	日本漢学概論A	選択	2	1・2	
	日本漢学概論B	選択	2	1・2	
	中国書道史A	選択	2	1・2	
	中国書道史B	選択	2	1・2	
	基礎韓国語演習①A	選択	1	1・2	
	基礎韓国語演習①B	選択	1	1・2	
	基礎韓国語演習②A	選択	1	1・2	
	基礎韓国語演習②B	選択	1	1・2	
	書道①A	選択	1	1・2	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
学科共通科目	書道①B	選択	1	1・2	10単位以上選択 必修
	書道②A	選択	1	1・2	
	書道②B	選択	1	1・2	
	日本語学概論②B	選択	2	1・2	
	日本文学概説B	選択	2	1・2	
	国文法演習A	選択	1	1・2	
	国文法演習B	選択	1	1・2	
	漢字情報処理	選択	2	1・2	
ゼミナール	プレゼミ (中国文学)	選択	2	2	2科目4単位選択 必修
	プレゼミ (日本漢学)	選択	2	2	
	プレゼミ (アジア史)	選択	2	2	
	プレゼミ (中国語)	選択	2	2	
	プレゼミ (韓国語)	選択	2	2	
	プレゼミ (書道)	選択	2	2	
	ゼミナール I A	必修	2	3	
	ゼミナール I B	必修	2	3	
	ゼミナール II A	必修	2	4	
	ゼミナール II B	必修	2	4	
	卒業研究	必修	6	4	
専門科目	日本漢学演習①	選択	2	2・3	専門科目 I
	日本漢学演習②	選択	2	2・3	
	日本漢学演習③	選択	2	2・3	
	日本漢学演習④	選択	2	2・3	
	中国語中級会話①	選択	2	2・3	
	中国語中級会話②	選択	2	2・3	
	中国語中級会話③	選択	2	2・3	
	中国語中級会話④	選択	2	2・3	
	中国語中級表現①	選択	2	2・3	
	中国語中級表現②	選択	2	2・3	
	中国語中級表現③	選択	2	2・3	
	中国語中級表現④	選択	2	2・3	
	中国語中級読解①	選択	2	2・3	
	中国語中級読解②	選択	2	2・3	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 I	中国語中級読解③	選択	2	2・3	専門科目 I
	中国語中級読解④	選択	2	2・3	
	韓国語中級会話①	選択	2	2・3	
	韓国語中級会話②	選択	2	2・3	
	韓国語中級会話③	選択	2	2・3	
	韓国語中級会話④	選択	2	2・3	
	韓国語中級表現①	選択	2	2・3	
	韓国語中級表現②	選択	2	2・3	
	韓国語中級表現③	選択	2	2・3	
	韓国語中級表現④	選択	2	2・3	
	韓国語中級読解①	選択	2	2・3	
	韓国語中級読解②	選択	2	2・3	
	韓国語中級読解③	選択	2	2・3	
	韓国語中級読解④	選択	2	2・3	
	書道文化演習 楷書の古典①A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 楷書の古典①B	選択	1	2・3	
	書道文化演習 楷書の古典②A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 楷書の古典②B	選択	1	2・3	
	書道文化演習 行書の古典①A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 行書の古典①B	選択	1	2・3	
	書道文化演習 行書の古典②A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 行書の古典②B	選択	1	2・3	
	書道文化演習 草書の古典①A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 草書の古典①B	選択	1	2・3	
	書道文化演習 かなの古典①A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 かなの古典①B	選択	1	2・3	
	書道文化演習 漢字・かな交じりの書と古典A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 漢字・かな交じりの書と古典B	選択	1	2・3	
	書道文化演習 書道作品制作①A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 書道作品制作①B	選択	1	2・3	
	書道文化演習 書道作品制作②A	選択	1	2・3	
	書道文化演習 書道作品制作②B	選択	1	2・3	
中国文学概論A	選択	2	2・3		

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 専門科目 I	中国文学概論B	選択	2	2・3	
	中国文学講読①	選択	2	2・3	
	中国文学講読②	選択	2	2・3	
	中国文学講読③	選択	2	2・3	
	中国文学講読④	選択	2	2・3	
	中国近現代文学史A	選択	2	2・3	
	中国近現代文学史B	選択	2	2・3	
	中国思想概論A	選択	2	2・3	
	中国思想概論B	選択	2	2・3	
	中国思想史講読①	選択	2	2・3	
	中国思想史講読②	選択	2	2・3	
	中国思想史講読③	選択	2	2・3	
	中国思想史講読④	選択	2	2・3	
	東アジア史学講読①	選択	2	2・3	
	東アジア史学講読②	選択	2	2・3	
	比較文学・文化講義③A	選択	2	2・3	
	比較文学・文化講義③B	選択	2	2・3	
	海外（中国）研修講座①	選択	2	2・3	集中
	海外（中国）研修講座②	選択	2	2・3	集中
	日本漢文学史A	選択	2	2・3	
	日本漢文学史B	選択	2	2・3	
	日本漢学講読①	選択	2	2・3	
	日本漢学講読②	選択	2	2・3	
	国文学講義①A	選択	2	2・3	
	国文学講義①B	選択	2	2・3	
	国文学講義②A	選択	2	2・3	
	国文学講義②B	選択	2	2・3	
	国文学講義③A	選択	2	2・3	
	国文学講義③B	選択	2	2・3	
	国文学講義④A	選択	2	2・3	
	国文学講義④B	選択	2	2・3	
	国文学講義⑤A	選択	2	2・3	
	国文学講義⑤B	選択	2	2・3	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
専門科目 専門科目 I	国文学講義⑥A	選択	2	2・3		
	国文学講義⑥B	選択	2	2・3		
	海外社会事情Ⅱ（中国）	選択	2	2・3		
	比較文学・文化論③A	選択	2	2・3		
	比較文学・文化論③B	選択	2	2・3		
	比較文学・文化講義④A	選択	2	2・3		
	比較文学・文化講義④B	選択	2	2・3		
	韓国文学史A	選択	2	2・3		
	韓国文学史B	選択	2	2・3		
	比較文学・文化論④A	選択	2	2・3		
	比較文学・文化論④B	選択	2	2・3		
	海外社会事情Ⅰ（韓国）	選択	2	2・3		
	海外（韓国）研修講座①	選択	2	2・3	集中	
	海外（韓国）研修講座②	選択	2	2・3	集中	
	書道文化講義 書道 名品鑑賞①A	選択	2	2・3		
	書道文化講義 書道 作品鑑賞①B	選択	2	2・3		
	書道文化講義 日本 書道史A	選択	2	2・3		
	書道文化講義 日本 書道史B	選択	2	2・3		
	専門科目 専門科目 II	中国文学研究①	選択	2	3・4	
		中国文学研究②	選択	2	3・4	
		中国文学研究③	選択	2	3・4	
		中国文学研究④	選択	2	3・4	
		中国文学研究⑤	選択	2	3・4	
		中国文学研究⑥	選択	2	3・4	
中国思想史研究①		選択	2	3・4		
中国思想史研究②		選択	2	3・4		
中国思想史研究③		選択	2	3・4		
中国思想史研究④		選択	2	3・4		
中国文学と思想A		選択	2	3・4		
中国文学と思想B		選択	2	3・4		
日本漢学研究①		選択	2	3・4		
日本漢学研究②		選択	2	3・4		
中国語上級会話①		選択	2	3・4		

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 専門科目II	中国語上級会話②	選択	2	3・4	
	中国語上級表現①	選択	2	3・4	
	中国語上級表現②	選択	2	3・4	
	中国語上級読解①	選択	2	3・4	
	中国語上級読解②	選択	2	3・4	
	中国語上級読解③	選択	2	3・4	
	中国語上級読解④	選択	2	3・4	
	ビジネス中国語①	選択	2	3・4	
	ビジネス中国語②	選択	2	3・4	
	比較文学・文化研究 ②A	選択	2	3・4	
	比較文学・文化研究 ②B	選択	2	3・4	
	比較文学・文化研究 ③A	選択	2	3・4	
	比較文学・文化研究 ③B	選択	2	3・4	
	比較文学・文化研究 ④A	選択	2	3・4	
	比較文学・文化研究 ④B	選択	2	3・4	
	韓国語上級会話①	選択	2	3・4	
	韓国語上級会話②	選択	2	3・4	
	韓国語上級表現①	選択	2	3・4	
	韓国語上級表現②	選択	2	3・4	
	韓国語上級表現③	選択	2	3・4	
	韓国語上級表現④	選択	2	3・4	
	韓国語上級読解①	選択	2	3・4	
	韓国語上級読解②	選択	2	3・4	
	ビジネス韓国語①	選択	2	3・4	
	ビジネス韓国語②	選択	2	3・4	
	韓国文化研究A	選択	2	3・4	
	韓国文化研究B	選択	2	3・4	
	書道表現研究 草書 の古典②A	選択	2	3・4	
	書道表現研究 草書 の古典②B	選択	2	3・4	
	書道表現研究 かな の古典②A	選択	2	3・4	
	書道表現研究 かな の古典②B	選択	2	3・4	
	書道表現研究 隷 書・篆書の古典A	選択	2	3・4	
	書道表現研究 隷 書・篆書の古典B	選択	2	3・4	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 専門科目II	書道表現研究 細字 書と篆刻の古典A	選択	2	3・4	
	書道表現研究 細字 書と篆刻の古典B	選択	2	3・4	
	書道作品制作 漢字 の書①A	選択	2	3・4	
	書道作品制作 漢字 の書①B	選択	2	3・4	
	書道作品制作 漢字 の書②A	選択	2	3・4	
	書道作品制作 漢字 の書②B	選択	2	3・4	
	書道作品制作 かな の書①A	選択	2	3・4	
	書道作品制作 かな の書①B	選択	2	3・4	
	書道作品制作 かな の書②A	選択	2	3・4	
	書道作品制作 かな の書②B	選択	2	3・4	
	書道作品制作 漢字 かな交じりの書A	選択	2	3・4	
	書道作品制作 漢字 かな交じりの書B	選択	2	3・4	
	書道作品制作 篆 刻・刻字A	選択	2	3・4	
	書道作品制作 篆 刻・刻字B	選択	2	3・4	
	中国学特殊研究（作 詩法）A	選択	2	3・4	
	中国学特殊研究（作 詩法）B	選択	2	3・4	
	中国文化史特殊研究	選択	2	3・4	
	中国思想史特殊研究	選択	2	3・4	
	日本漢学特殊研究A	選択	2	3・4	
	日本漢学特殊研究B	選択	2	3・4	
	創作実践②A	選択	2	3・4	
	創作実践②B	選択	2	3・4	
	中国語学概論A	選択	2	3・4	
	中国語学概論B	選択	2	3・4	
	言語学概論A	選択	2	3・4	
	言語学概論B	選択	2	3・4	
	国際貿易論A	選択	2	3・4	
	国際貿易論B	選択	2	3・4	
	国際法A	選択	2	3・4	
	国際法B	選択	2	3・4	
	外国法A	選択	2	3・4	
	外国法B	選択	2	3・4	
	海外（中国）研修講 座③	選択	2	3・4	集中

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考	
専門科目	専門科目Ⅱ	海外（韓国）研修講座③	選択	2	3・4	集中
		比較文学・文化特殊研究④A	選択	2	3・4	
		比較文学・文化特殊研究④B	選択	2	3・4	
		韓国語学概論A	選択	2	3・4	
		韓国語学概論B	選択	2	3・4	
		書道文化特殊研究中国書道史研究A	選択	2	3・4	
		書道文化特殊研究中国書道史研究B	選択	2	3・4	
		書道文化特殊研究日本書道史研究A	選択	2	3・4	
		書道文化特殊研究日本書道史研究B	選択	2	3・4	
		書道文化特殊研究書論講読A	選択	2	3・4	
		書道文化特殊研究書論講読B	選択	2	3・4	
		書道文化特殊研究書道名品鑑賞②A	選択	2	3・4	
		書道文化特殊研究書道名品鑑賞②B	選択	2	3・4	
		履修要件	二松学舎共通科目から22単位（うち総合教養科目から8単位）、学部共通科目から10単位、学科共通科目から18単位、専門科目から74単位以上、計124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間）） なお、専門科目のうち専門科目Ⅰの科目から18単位、専門科目Ⅱの科目から18単位を選択必修とする。専門科目には、プレゼミ（4単位選択必修）、ゼミナールⅠ、Ⅱ（各4単位必修）、卒業研究（6単位必修）、他学科他専門科目（20単位選択必修）を含む。			

<都市文化デザイン学科>

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考	
学科共通科目	都市文化デザイン学入門	必修	2	1		
	異文化コミュニケーション概論	必修	2	1		
	コンテンツ文化概論	必修	2	1		
	国際日本学概論	必修	2	1		
	都市社会文化概論	必修	2	1		
	観光社会学概論	必修	2	1		
	メディア学概論	必修	2	1		
	環境デザイン学概論	必修	2	1		
	英語で学ぶフランス語	選択	2	1・2	1科目2単位選択必修	
	英語で学ぶ中国語	選択	2	1・2		
専門科目	ゼミナール	プレゼミ（コンテンツ文化A）	選択	2	2	プレゼミ 2科目4単位選択必修
		プレゼミ（コンテンツ文化B）	選択	2	2	
		プレゼミ（観光メディアA）	選択	2	2	

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考		
専門科目	ゼミナール	プレゼミ（観光メディアB）	選択	2	2	プレゼミ 2科目4単位選択必修	
		プレゼミ（国際日本学A）	選択	2	2		
		プレゼミ（国際日本学B）	選択	2	2		
		ゼミナールⅠA	必修	4	3		
		ゼミナールⅠB	必修	4	3		
		ゼミナールⅡA	必修	4	3		
		ゼミナールⅡB	必修	4	3		
		卒業研究	必修	6	4		
		専門科目Ⅰ	映像制作演習	選択	2	2・3	
			コンテンツ企画演習	選択	2	2・3	
	広告文化論演習		選択	2	2・3		
	アートビジネス演習		選択	2	2・3		
	Global English		選択	2	2・3		
	都市文化デザイン学講義①		必修	2	2・3		
	都市文化デザイン学講義②		必修	2	2・3		
	都市文化デザイン学講義③		必修	2	2・3		
	都市文化デザイン学講義④		必修	2	2・3		
	視覚文化論講義		選択	2	2・3		
	多文化共生講義		選択	2	2・3		
	マスコミ文化論講義		選択	2	2・3		
	観光文化論講義		選択	2	2・3		
	芸能・演劇文化講義A		選択	2	2・3		
	芸能・演劇文化講義B		選択	2	2・3		
	メディア・コミュニケーション講義		選択	2	2・3		
	編集デザイン講義		選択	2	2・3		
	映像・演劇文化講義A	選択	2	2・3			
	映像・演劇文化講義B	選択	2	2・3			
ポピュラーカルチャー講義	必修	2	3・4				
専門科目Ⅱ	都市文化デザイン学研究	選択	2	3・4			
	キャラクター文化研究	選択	2	3・4			
	オーディエンス文化研究	選択	2	3・4			
	ゲーム文化研究	選択	2	3・4			
	マンガ文化研究	選択	2	3・4			

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考	
専門科目	専門科目Ⅱ	アニメーション文化研究	選択	2	3・4	
		江戸東京文化研究	選択	2	3・4	
		都市文化デザイン学特殊研究	必修	2	3・4	
		地域ブランディング特殊研究	選択	2	3・4	
		編集デザイン特殊研究	選択	2	3・4	
		パフォーミングアーツ特殊研究	選択	2	3・4	
		アニメーション文化特殊研究①	選択	2	3・4	
		アニメーション文化特殊研究②	選択	2	3・4	
		文化ビジネス特殊研究①	選択	2	3・4	
		文化ビジネス特殊研究②	選択	2	3・4	
		東アジア都市文化フィールドワーク①	選択	2	3・4	集中
		東アジア都市文化フィールドワーク②	選択	2	3・4	集中
		欧米都市文化フィールドワーク	選択	2	3・4	集中
		履修要件	二松学舎共通科目から22単位（うち総合教養科目から8単位）、学部共通科目から10単位、学科共通科目から18単位、専門科目から74単位以上、計124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間）） なお、専門科目のうち専門科目Ⅰの科目から18単位、専門科目Ⅱの科目から18単位を選択必修とする。専門科目には、プレゼミ（4単位選択必修）、ゼミナールⅠ、Ⅱ（各4単位必修）、卒業研究（6単位必修）、他学科他専門科目（20単位選択必修）を含む。			

<歴史文化学科>

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考
学科共通科目	歴史文化概論	必修	2	1	
	日本史概論	必修	2	1	
	アジア史概論	必修	2	1	
	西洋史概論	必修	2	1	
	古文書学入門①	選択	2	1・2	5科目10単位選択必修
	古文書学入門②	選択	2	1・2	
	地理学概説	選択	2	1・2	
	地誌学概説	選択	2	1・2	
	経済学概説	選択	2	1・2	
	哲学概説	選択	2	1・2	
	倫理学概説	選択	2	1・2	
	政治学概説	選択	2	1・2	
	社会学概説	選択	2	1・2	

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考	
ゼミナール	プレゼミ（日本史・古代～近世）	選択	2	2	2科目4単位選択必修	
	プレゼミ（日本史・近現代）	選択	2	2		
	プレゼミ（欧米史）	選択	2	2		
	プレゼミ（アジア史）	選択	2	2		
	プレゼミ（思想文化史）	選択	2	2		
	プレゼミ（芸能文化史）	選択	2	2		
	ゼミナールⅠA	必修	2	3		
	ゼミナールⅠB	必修	2	3		
	ゼミナールⅡA	必修	2	4		
	ゼミナールⅡB	必修	2	4		
	卒業研究	必修	6	4		
	専門科目Ⅰ	日本社会史	選択	2	2・3	
		日本文化史	選択	2	2・3	
		日本仏教史①	選択	2	2・3	
日本仏教史②		選択	2	2・3		
九段学		選択	2	2・3		
江戸東京史		選択	2	2・3		
歴史文化フィールドワーク		選択	2	2・3	集中	
比較文学・文化論③A		選択	2	2・3		
比較文学・文化論③B		選択	2	2・3		
文化交流史		選択	2	2・3		
日本漢文学史A		選択	2	2・3		
日本漢文学史B		選択	2	2・3		
芸能・演劇史①		選択	2	2・3		
芸能・演劇史②		選択	2	2・3		
芸能・演劇史③	選択	2	2・3			
芸能・演劇史④	選択	2	2・3			
日本思想史	選択	2	2・3			
アジア思想史	選択	2	2・3			
日本史通史講義①	選択	2	2・3			
日本史通史講義②	選択	2	2・3			
日本史特講①	選択	2	2・3			
日本史特講②	選択	2	2・3			

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 I	日本史特講③	選択	2	2・3	
	日本史特講④	選択	2	2・3	
	考古学概論	選択	2	2・3	
	海外社会事情 I (韓国)	選択	2	2・3	
	海外社会事情 II (中国)	選択	2	2・3	
	東アジア史学講読①	選択	2	2・3	
	東アジア史学講読②	選択	2	2・3	
	ヨーロッパ史特講	選択	2	2・3	
	多文化共生講義	選択	2	2・3	
	自然地理学講義	選択	2	2・3	
	民俗学概論	選択	2	2・3	
	日本思想史講読	選択	2	2・3	
	中国思想史講読①	選択	2	2・3	
	芸能文化史講読	選択	2	2・3	
専門科目 II	日本古代史研究	選択	2	3・4	
	日本中世史研究	選択	2	3・4	
	日本近世史研究	選択	2	3・4	
	日本近現代史研究	選択	2	3・4	
	日本史料研究	選択	2	3・4	
	国際日本史研究	選択	2	3・4	
	日本思想史研究①	選択	2	3・4	
	日本思想史研究②	選択	2	3・4	
	江戸東京文化研究	選択	2	3・4	
	欧米文化史研究	選択	2	3・4	
	アジア文化史研究	選択	2	3・4	
	人文地理学研究	選択	2	3・4	
	中国思想史研究①	選択	2	3・4	
	中国思想史研究②	選択	2	3・4	
	芸能・演劇研究③A	選択	2	3・4	
	芸能・演劇研究③B	選択	2	3・4	
	日本文学と思想A	選択	2	3・4	
	日本文学と思想B	選択	2	3・4	
中国文学と思想A	選択	2	3・4		

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 II	中国文学と思想B	選択	2	3・4	
	日本史特殊研究①	選択	2	3・4	
	日本史特殊研究②	選択	2	3・4	
	日本史特殊研究③	選択	2	3・4	
	日本史特殊研究④	選択	2	3・4	
	日本史特殊研究⑤	選択	2	3・4	
	東アジア都市文化フィールドワーク①	選択	2	3・4	集中
	東アジア都市文化フィールドワーク②	選択	2	3・4	集中
	欧米都市文化フィールドワーク	選択	2	3・4	集中
	中国語学概論A	選択	2	3・4	
	中国語学概論B	選択	2	3・4	
	韓国語学概論A	選択	2	3・4	
	韓国語学概論B	選択	2	3・4	
	海外(中国)研修講座③	選択	2	3・4	集中
	海外(韓国)研修講座③	選択	2	3・4	集中
	東アジア史特殊研究	選択	2	3・4	
	中国文化史特殊研究	選択	2	3・4	
	欧米文化史特殊研究	選択	2	3・4	
	民俗学特殊研究①	選択	2	3・4	
	民俗学特殊研究②	選択	2	3・4	
	日本思想史特殊研究	選択	2	3・4	
	中国思想史特殊研究	選択	2	3・4	
	美術史特殊研究	選択	2	3・4	
	芸能・演劇特殊研究②A	選択	2	3・4	
	芸能・演劇特殊研究②B	選択	2	3・4	
	表象メディア特殊研究A	選択	2	3・4	
表象メディア特殊研究B	選択	2	3・4		
履修要件	<p>二松学舎共通科目から22単位(うち総合教養科目から8単位)、学部共通科目から10単位、学科共通科目から18単位、専門科目から74単位以上、計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:40単位(年間)) なお、専門科目のうち専門科目Iの科目から18単位、専門科目IIの科目から18単位を選択必修とする。専門科目には、プレゼミ(4単位選択必修)、ゼミナールI、II(各4単位必修)、卒業研究(6単位必修)、他学科他専門科目(20単位選択必修)を含む。</p>				

<国際政治経済学部>

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考	
国際政治経済学部共通科目	ICT教育科目	ITリテラシー②	必修	2	1	
	PBL科目	PBLゼミナール	必修	2	1	
国際政治経済学部共通科目	語学教育科目	外国語科目群(独・仏・露・中・韓)	選択	1	1	語学教育科目 4科目4単位選択 必修
		総合教養科目※英語以外から選択	選択	1	1	
		グローバルカレントトピックスA	選択	1	2	
		グローバルカレントトピックスB	選択	1	2	
		英語プレゼンテーションA	選択	1	2	
		英語プレゼンテーションB	選択	1	2	
		ビジネスイングリッシュA	選択	1	2	
		ビジネスイングリッシュB	選択	1	2	
		タスクリーディングA	選択	1	2	
		タスクリーディングB	選択	1	2	
		タスクリスニングA	選択	1	2	
タスクリスニングB	選択	1	2			
数理・データ教育科目	データ分析入門	必修	2	2		
キャリア教育科目	キャリアビジョン	必修	2	3		

<国際政治経済学科>

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考	
国際政治経済学科	基礎科目	政治学	必修	2	1	4科目8単位選択 必修
		国際関係	必修	2	1	
		経済学入門A	必修	2	1	
		経済学入門B	必修	2	1	
		法学概論A	必修	2	1	
		法学概論B	必修	2	1	
		日本史概論A	選択	2	1	
		日本史概論B	選択	2	1	
		西洋史概論	選択	2	1	
		東洋史概論	選択	2	1	
		宗教学概論	選択	2	1	
		基礎社会学A	選択	2	2	
		基礎社会学B	選択	2	2	

区分	授業科目名	必修・選択	単位数	配当年次	備考	
学科共通科目	基礎科目	基礎地理学A	選択	2	2	4科目8単位選択 必修
		基礎地理学B	選択	2	2	
		基礎地誌学	選択	2	2	
専門科目	専門科目I	憲法A	選択	2	2	法行政専攻必修
		憲法B	選択	2	2	法行政専攻必修
		国際法A	選択	2	2	
		国際法B	選択	2	2	
		国際政治学A	選択	2	2	
		国際政治学B	選択	2	2	
		政治学原論A	選択	2	2	国際政治専攻必修
		政治学原論B	選択	2	2	国際政治専攻必修
		政治理論	選択	2	2	
		比較政治学A	選択	2	2	
		比較政治学B	選択	2	2	
		国際関係史	選択	2	2	
		行政学	選択	2	2	
		マクロ経済学入門A	選択	2	2	国際経済専攻選択必修
		マクロ経済学入門B	選択	2	2	
		ミクロ経済学入門A	選択	2	2	国際経済専攻選択必修
		ミクロ経済学入門B	選択	2	2	
		財政学	選択	2	2	
		金融論A	選択	2	2	
		金融論B	選択	2	2	
		国際経済論A	選択	2	2	
		国際経済論B	選択	2	2	
		民法①A	選択	2	2	
		民法①B	選択	2	2	
		商法	選択	2	2	
		刑法A	選択	2	2	
		刑法B	選択	2	2	
行政法A	選択	2	2			
行政法B	選択	2	2			
海外社会事情 I	選択	2	2			

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
専 門 科 目 I	海外社会事情Ⅱ	選択	2	2		
	海外社会事情Ⅲ	選択	2	2		
	海外社会事情Ⅳ	選択	2	2		
	海外社会事情Ⅴ	選択	2	2		
	ビジネスIT・ⅠA	選択	2	2		
	ビジネスIT・ⅠB	選択	2	2		
	ビジネスIT・ⅡA	選択	2	2		
	ビジネスIT・ⅡB	選択	2	2		
	統計学	選択	2	2		
	財務会計論	選択	2	2		
	簿記	選択	2	2		
	簿記演習	選択	2	2		
	TOEFL	選択	2	2	英語特別プログラ ム	
	Cross-Cultural Communication	選択	2	2		
	Academic Writing	選択	2	2		
	Academic Reading	選択	2	2		
	専 門 科 目 II	国際政治経済論A	選択	2	3・4	
		国際政治経済論B	選択	2	3・4	
		現代国際政治史A	選択	2	3・4	
		現代国際政治史B	選択	2	3・4	
政治思想史A		選択	2	3・4		
政治思想史B		選択	2	3・4		
アジア政治史A		選択	2	3・4		
アジア政治史B		選択	2	3・4		
国際社会論		選択	2	3・4		
国際機構論A		選択	2	3・4		
国際機構論B		選択	2	3・4		
国際安全保障論A		選択	2	3・4		
国際安全保障論B		選択	2	3・4		
国際協力とNGO		選択	2	3・4		
日本政治論A		選択	2	3・4		
日本政治論B		選択	2	3・4		
日本政治外交史A		選択	2	3・4		

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専 門 科 目 II	日本政治外交史B	選択	2	3・4	
	地方自治論	選択	2	3・4	
	国際政治特別講義	選択	2	3・4	
	外国書研究（政治）	選択	2	3・4	
	マクロ経済学A	選択	2	3・4	
	マクロ経済学B	選択	2	3・4	
	ミクロ経済学A	選択	2	3・4	
	ミクロ経済学B	選択	2	3・4	
	国際貿易論A	選択	2	3・4	
	国際貿易論B	選択	2	3・4	
	国際金融論A	選択	2	3・4	
	国際金融論B	選択	2	3・4	
	経済発展論	選択	2	3・4	
	日本経済論	選択	2	3・4	
	経済学特別講義	選択	2	3・4	
	外国書研究（経済）	選択	2	3・4	
	民法②A	選択	2	3・4	
	民法②B	選択	2	3・4	
	会社法A	選択	2	3・4	
	会社法B	選択	2	3・4	
	経済法	選択	2	3・4	
	税法	選択	2	3・4	
	知的財産権法	選択	2	3・4	
	民事訴訟法	選択	2	3・4	
	国際経済法	選択	2	3・4	
	国際取引法	選択	2	3・4	
	外国法A	選択	2	3・4	
	外国法B	選択	2	3・4	
	法学特別講義	選択	2	3・4	
	外国書研究（法律）	選択	2	3・4	
	地域研究Ⅰ	選択	2	3・4	
	地域研究Ⅱ	選択	2	3・4	
	地域研究Ⅲ	選択	2	3・4	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
専門科目	専門科目Ⅱ	地域研究Ⅳ	選択	2	3・4	
		地域研究Ⅴ	選択	2	3・4	
		東アジアの政治と経済	選択	2	3・4	
		ビジネスIT・ⅢA	選択	2	3・4	
		ビジネスIT・ⅢB	選択	2	3・4	
		ビジネスIT・ⅣA	選択	2	3・4	
		ビジネスIT・ⅣB	選択	2	3・4	
		起業家論	選択	2	3・4	
		Business Writing	選択	2	3・4	
		Business Communication	選択	2	3・4	
		Discussion	選択	2	3・4	
		Advanced TOEIC	選択	2	3・4	英語特別プログラム
		Media English	選択	2	3・4	
		Advanced Conversation	選択	2	3・4	
		Advanced Presentation	選択	2	3・4	
	Independent Study	選択	2	3・4		
	卒業論文	選択	4	4		
	ゼミナール	イングリッシュセミナーA	必修	2	2	
		イングリッシュセミナーB	必修	2	2	
		ゼミナール①A	必修	2	3	
ゼミナール①B		必修	2	3		
ゼミナール②A		必修	2	4		
ゼミナール②B		必修	2	4		
履修要件	<p>二松学舎共通科目から22単位（うち総合教養科目から8単位）、学部共通科目から12単位、学科共通科目から20単位、専門科目から70単位以上、計124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間）） なお、専門科目のうち専門科目Ⅰの科目から16単位、専門科目Ⅱの科目から26単位を選択必修とする。専門科目には、ゼミナール（12単位必修）、他学科他専門科目（16単位選択必修）を含む。</p>					

<国際経営学科>

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
学科共通科目	基礎科目	経営学概論A	必修	2	1	
		経営学概論B	必修	2	1	
		経済学A	必修	2	1	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考	
専門科目	基礎科目	経済学B	必修	2	1	
		法学A	必修	2	1	
		法学B	必修	2	1	
		プラクティカルイングリッシュA	必修	2	2	
		プラクティカルイングリッシュB	必修	2	2	
		専門科目Ⅰ	統計学A	必修	2	2
	統計学B		必修	2	2	
	企業法①		選択	2	2	
	企業法②		選択	2	2	
	マーケティング概論		選択	2	2	
	キャリアマネジメントⅠ		選択	2	2	
	ファイナンス基礎		選択	2	2	
	経営戦略論		選択	2	2	
	経営組織論		選択	2	2	
	経営史		選択	2	2	
	財務会計論		選択	2	2	
	簿記		選択	2	2	
	簿記演習		選択	2	2	
	民法①A		選択	2	2	
	民法①B	選択	2	2		
ビジネスIT・ⅠA	選択	2	2			
ビジネスIT・ⅠB	選択	2	2			
ビジネスIT・ⅡA	選択	2	2			
ビジネスIT・ⅡB	選択	2	2			
専門科目Ⅱ	TOEFL	選択	2	2	英語特別プログラム	
	Cross-Cultural Communication	選択	2	2		
	Academic Writing	選択	2	2		
	Academic Reading	選択	2	2		
	会社法A	選択	2	3・4		
	会社法B	選択	2	3・4		
ビジネス・エコノミクス	選択	2	3・4			
イノベーション論Ⅰ	選択	2	3・4			
イノベーション論Ⅱ	選択	2	3・4			

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 専門科目Ⅱ	ファイナンス応用	選択	2	3・4	
	商品開発論	選択	2	3・4	
	広告論	選択	2	3・4	
	スポーツマネジメント	選択	2	3・4	
	ビジネスアイデア論	選択	2	3・4	
	ブランド戦略論	選択	2	3・4	
	観光ビジネス論	選択	2	3・4	
	流通論	選択	2	3・4	
	国際経営論	選択	2	3・4	
	ベンチャービジネス論	選択	2	3・4	
	キャリアマネジメントⅡ	選択	2	3・4	
	人的資源管理論	選択	2	3・4	
	グローバル企業論	選択	2	3・4	
	国際マーケティング論	選択	2	3・4	
	中小企業論	選択	2	3・4	
	リーダーシップ論	選択	2	3・4	
	技術経営論	選択	2	3・4	
	生産管理論	選択	2	3・4	
	東アジアの政治と経済	選択	2	3・4	
	ビジネスIT・ⅢA	選択	2	3・4	
	ビジネスIT・ⅢB	選択	2	3・4	
	ビジネスIT・ⅣA	選択	2	3・4	
	ビジネスIT・ⅣB	選択	2	3・4	
	Business Writing	選択	2	3・4	
	Business Communication	選択	2	3・4	
	Discussion	選択	2	3・4	
	Advanced TOEIC	選択	2	3・4	英語特別プログラム
	Media English	選択	2	4	
	Advanced Conversation	選択	2	4	
	Advanced Presentation	選択	2	4	
	Independent Study	選択	2	4	
	卒業論文	選択	4	4	
	ゼミナール	キャリアゼミナール	必修	2	

区分	授業科目名	必修・ 選択	単位 数	配当 年次	備考
専門科目 ゼミナール	プレゼミナール	必修	2	2	
	ゼミナール①A	必修	2	3	
	ゼミナール①B	必修	2	3	
	ゼミナール②A	必修	2	4	
	ゼミナール②B	必修	2	4	
履修要件	二松学舎共通科目から22単位（うち総合教養科目から8単位）、学部共通科目から12単位、学科共通科目から16単位、専門科目から74単位以上、計124単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：40単位（年間）） なお、専門科目のうち専門科目Ⅰの科目から16単位、専門科目Ⅱの科目から26単位を選択必修とする。専門科目には、ゼミナール（12単位必修）、他学科他専門科目（20単位選択必修）を含む。				

<教職に関する専門科目>

区分	授業科目名	単位 数	配当 年次	備考
教職課程科目	道徳教育の指導法	2	1	
	特別支援教育概論	2	1	
	教師論	2	1・2	
	教育原理	2	1・2	
	教育史	2	1・2	
	教育心理学	2	1・2	
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2	
	教育方法・技術論	2	2	
	教育課程・教育方法論	2	2	
	生徒指導・進路指導論	2	2	
	社会科指導法A	2	2	国際政治経済学科・歴史文化学科共通科目
	社会科指導法B	2	2	国際政治経済学科・歴史文化学科共通科目
	教育法規	2	3	
	教育相談	2	3	
	国語科指導法Ⅰ	2	2	国文学科・中国文学科共通科目
	国語科教育法A	2	3	国文学科・中国文学科共通科目
	国語科教育法B	2	3	国文学科・中国文学科共通科目
	中国語科教育法A	2	3	中国文学科科目
	中国語科教育法B	2	3	中国文学科科目
	書道科教育法A	2	3	国文学科・中国文学科共通科目
書道科教育法B	2	3	国文学科・中国文学科共通科目	

区分	授業科目名	単位数	配当年次	備考
教職課程科目	社会・公民科教育法A	2	3	国際政治経済学科科目
	社会・公民科教育法B	2	3	国際政治経済学科科目
	社会・地理歴史科教育法A	2	3	歴史文化学科科目
	社会・地理歴史科教育法B	2	3	歴史文化学科科目
	国語科（古典）指導法	2	3	国文学科・中国文学科共通科目
	中国語科指導法A	2	3	中国文学科科目
	中国語科指導法B	2	3	中国文学科科目
	国語科教育法演習A	2	3	国文学科・中国文学科共通科目
	国語科教育法演習B	2	3	国文学科・中国文学科共通科目
	教育実践研究	2	3	
	教育実習Ⅰ	2	4	集中
	教育実習Ⅱ	4	4	集中
	教育実習指導	1	4	
	教職実践演習（中・高）	2	4	
	司書教諭科目	学校経営と学校図書館	2	3
学校図書館メディアの構成		2	3	
学習指導と学校図書館		2	3	
読書と豊かな人間性		2	3	
情報メディアの活用		2	3	

区分	授業科目名	単位数	配当年次	備考
図書館司書課程	情報資源組織演習A	1	3	
	情報資源組織演習B	1	3	
	図書館基礎特論	1	3	
	図書館サービス特論	1	3	
	図書館情報資源特論	1	3	
	図書・図書館史	1	3	
	図書館施設論	1	3	
	図書館総合演習	1	3	
	図書館実習	1	3	
学芸員課程	博物館概論	2	2	
	博物館経営論	2	3	
	博物館資料論	2	3	
	博物館資料保存論	2	3	
	博物館展示論	2	3	
	博物館教育論	2	3	
	博物館情報・メディア論	2	3	
	博物館実習Ⅰ	1	3	
博物館実習Ⅱ	2	4		

<日本語教員養成に関する専門科目>

区分	授業科目名	単位数	配当年次	備考
日本語教員養成課程	日本語教育方法論A	2	2	
	日本語教育方法論B	2	2	
	日本語教育実習	2	4	
	日本語教育評価法	2	4	

<図書館司書・学芸員に関する専門科目>

区分	授業科目名	単位数	配当年次	備考
図書館司書・学芸員課程	生涯学習概論	2	2	
図書館司書課程	図書館概論	2	2	
	図書館制度・経営論	2	3	
	図書館情報・技術論	2	3	
	図書館サービス概論	2	2	
	情報サービス論	2	3	
	児童サービス論	2	3	
	情報サービス演習Ⅰ	1	3	
	情報サービス演習Ⅱ	1	3	
	図書館情報資源概論	2	2	
	情報資源組織論	2	3	

別 表 (二)

項 目	金 額	備 考	
学生納付金	入学金	250,000円	
	授業料	398,000円	春学期分
		398,000円	秋学期分
		796,000円	年 額
	施設費	125,000円	春学期分
		125,000円	秋学期分
		250,000円	年 額
	在籍料※	50,000円	春学期分
		50,000円	秋学期分
		100,000円	年 額
	入学検定料	35,000円	

※休学者のみ納入

別 表 (三)

科目等履修生

登 録 料	10,000円	
履修料	科目履修生	1 科目につき60,000円
	コース履修生	1 コースにつき500,000円 ただし半期の場合は、250,000円

委託研修生

委 託 料	50,000円
-------	---------